

令和3年度那覇市ICT教育推進部会 ICT活用実践事例報告書

那覇市立教育研究所

学校名	那覇市立 小禄 小学校	指導者	松田 美希
対象学年	特別支援学級 1学年	教科等	算数
单元名	たし算(1)		
使用ICT機器	<input type="checkbox"/> 電子黒板 <input checked="" type="checkbox"/> 生徒用タブレット端末 <input checked="" type="checkbox"/> ソフト・アプリ等 ( JamBoard )	<input type="checkbox"/> デジタル教科書 <input type="checkbox"/> 实物投影機 <input type="checkbox"/> その他 ( )	
本時のめあて	(導入:第1時) あわせていくつになるかをかんがえよう。		
ICT機器の活用場面	<ul style="list-style-type: none"> <li>具体物をブロックに置き換えることが難しい児童に、JamBoardで具体物のイラストを操作させて学習を促す。</li> </ul>		
指導の流れ	<p><b>【事前】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>JamBoardで操作が必要な場面の教材を作成しておく。</li> </ul> <p><b>【本時】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自力解決の場面において、JamBoardを活用し、具体物のイラストを操作させて考えさせたり、全体の場の説明時に活用したりする。</li> </ul> 		
指導上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童のタブレット整備がまだの状況だったので、担任のパソコンを使用したが、今後の整備によっては1人1人が手元で操作をして、それを活用しての発表に繋げることができるであろう。</li> <li>特別支援学級児童に活用する場合、特質からイラストや操作の仕方に目がいき、本来おさえたいと考えていた教師のねらいからズレることも考えられるので、そうならないよう留意する。</li> </ul>		